



青春の躍動

発行 鳥根県高等学校体育連盟
TEL 0855-2263384
FAX 0855-2263692
編集 鳥根県高等学校体育連盟
印刷 鳥根県高等学校体育連盟
刷字 鳥根県高等学校体育連盟
刷字 鳥根県高等学校体育連盟
刷字 鳥根県高等学校体育連盟

今年度の各大会を振り返って



会長 宇津 誠

平素より本連盟の行事にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。今年度も感染症対策に追われながらの大変運営となりました。五月下旬から県内各地で開催された県外各地は六十回の節目となる大会で、三十三校が参加し、六〇六名の選手が参加しました。各専門部では競技の特長や会場に応じた感染症対策を行った大会実施となりました。

全国高校総体は「燃え上り」のスタートの勢も、徳島県を主戦場に四国四県と和歌山県で開催されました。七月二十一日徳島市で開催された総開会式は、秋津天来、総開会式の中、安芸高校安芸バレー部五名が鳥根選手団の代表として堂々と入場行進を行いました。大会は各競技で戦況が激り、鳥根県から三十三校に総勢五八四名の選手が参加し、結果二十競技三十三種目で入賞を果たしました。これは昭和五十七年度の三十六種目より二種目減りました。その中でも、ホッケー男子横田高校と、カヌー女子カヤックペアの出雲農林高校(三島橋本選手)の連覇など、素晴らしい成績を残しました。一方でコロナウイルス感染症とされる出場辞退も散見され、出場辞退もチームの無念さを感じておられる方もおられました。また、全国高等学校定時制通信制大会は、八月二十日六ヶ所等々を会場に行われ、本県より男子選手を擁した一校二十一名の選手が参加しました。各大会に参加した全ての選手が大会での活躍に敬意を表するとともに、お疲れの程に心からお祝い申し上げます。

「インターハイを終えて」



横田高校 男子ホッケー部 主将 佐伯 昂大

私たちが男子ホッケー部はインターハイ、団体選抜すべて優勝し三冠達成することが目標でした。インターハイは一度目の優勝を必ず取りたいという気持ちで大会に向かいました。二回戦羽衣学園高校と対戦しました。初戦という状況で、あまり試合の入りが良いかなと思っております。しかし、試合中に選手同士で話し合い改善し、勝つことができました。

準々決勝では伊吹高校と対戦しました。スタートの入りはよく自分達のペースにコントロールすることができ、勝利を収めました。準決勝では鳥取県代表の八頭高校と対戦しました。八頭高校は予選や練習試合などでよく試合をしており互いの内を知っている状況での試合でした。スタートは相手のペースに流されてしまい、自分達のプレーをすることができませんでした。しかし、焦らず解決策を後半戦に入れたことで自分達のペースで試合を進めることができました。



決勝戦では昨年インターハイで同率優勝の丹生高校と対戦しました。試合中盤に2点を入れ、自分達のペースを進めることができました。しかし、4クォーターでは横田高校に退場選手が二人でそこから丹生高校はスーパーバレーを打ってゴールを決めました。三入不利の状況が激り猛攻撃を受けましたがキーパーやディフェンスを中心に守り切ることができました。前年度の北信越インターハイでは同率優勝という悔しい結果でしたが、今年は単独優勝することができて嬉しかったです。また、この優勝は普段から受けて下さっている家族や先生方、地域の方の力があって下さっていると思っています。応援ご支援ありがとうございます。自分達の目標である三冠の一つ近づけたのであと二冠取るだけだと思います。守備から攻撃を強化したいと思っております。今後とも応援よろしくお願いします。



決勝戦では昨年インターハイで同率優勝の丹生高校と対戦しました。試合中盤に2点を入れ、自分達のペースを進めることができました。しかし、4クォーターでは横田高校に退場選手が二人でそこから丹生高校はスーパーバレーを打ってゴールを決めました。三入不利の状況が激り猛攻撃を受けましたがキーパーやディフェンスを中心に守り切ることができました。前年度の北信越インターハイでは同率優勝という悔しい結果でしたが、今年は単独優勝することができて嬉しかったです。また、この優勝は普段から受けて下さっている家族や先生方、地域の方の力があって下さっていると思っています。応援ご支援ありがとうございます。自分達の目標である三冠の一つ近づけたのであと二冠取るだけだと思います。守備から攻撃を強化したいと思っております。今後とも応援よろしくお願いします。

「インターハイ連覇を振り返って」



出雲農林高校 カヌー部 三年三島 寧々

今回のインターハイは昨年と全く違う、プレッシャーの強いインターハイで、プレッシャーとあまり感じずに伸び伸びと戦ったことが出ました。結果を聞いた後でも「自分たちが日本一だ」という実感が湧かず不思議な気持ちでした。しかし、そこからの一年間はテレビや新聞などで二年生のインターハイ連覇のニュースが流れてきて、自分たちが三年生のインターハイ連覇の期待や、他の大会でも「また三島橋本ペアが優勝するだろう」という重圧に耐える年でした。三島は高校から、橋本は中学校から始めたカヌーでしたが、無名だったため注目されるのが初めてでした。周囲からの期待が重荷になり、日々の練習も焦る気持ちや不安な気持ちが出て、精神的にも辛い時期がありました。大きな目標であるインターハイ連覇に向け、二人で乗り越えようという気持ちで、今までの練習を信じ二人で進んでいきます。インターハイ連覇に向けて、二人で乗り越えようという気持ちで、今までの練習を信じ二人で進んでいきます。

令和4年度 全国高等学校総合体育大会 躍動の青いカ 四国総体2022 燃え上り我が国志 国吹也へ

【競技開催期間】2022年7/23(土)~8/23(火) 【総合開会式】2022年7/23(土) アステいとくしま

日本一を目指して

感謝！更なる飛躍に向かって！

私は鳥根県から日本一を目指してという理由から、大社高校に進学しました。ですが、県外の強豪校とは違い、全国トップレベルの選手が集まっているわけではありませんが、その分練習量を積み重ねれば日本一は見えてくると分かっていました。入学直後に新型コロナウイルスにより全国一斉休校となり、練習もできず、連覇にも行けないという日々が続くとともに、インターハイの中止も決まりました。その時の三年生は、高校生活最大の目標が失われたにも関わらず、私たちが指導を本気になって下さり、私は「先輩方のためにも必ず日本一になる」と決意したことを覚えています。

出雲北陵高校卓球部は、愛媛県宇和島市で開催された令和四年度全国高等学校卓球選手権大会(インターハイ)で団体戦三位、ダブルス二位という成績を残すことができた。特に印象に残っている試合は、団体戦の準決勝で対戦した愛宕大(愛知)との試合です。愛工大名電インターハイ五連覇中の強豪校ですが、私がダブルスとダブルスで2点を奪うことができ、絶対王者を土俵際まで追い詰めることができました。チームは連敗負けしてしまいましたが、最後の最後までチームの仲間と一緒に戦ったことに誇りを感じるとともに、今までの練習の成果を味わうことができました。試合後は卓球関係者のみなさん、多くの方々から「おめでとう」という祝福の言葉をいただきました。今までたくさんの方々を支えられてきたことを改めて感謝しました。今は両親や顧問の先生、宿でお世話になった先生の御家族やお手伝いさんには感謝の気持ちでいっぱいですが、私の好きな言葉に「No pain, no gain.」という言葉があります。雨とは練習や試合で流す汗や涙のことを指し、虹はその先の成果を意味します。私は高校卒業後も実業団で卓球を続けていく予定です。今までの練習や試合で流した汗や涙のことが、今風調い卓球人生を歩んでいく上で、大切な思い出になるように、決して願わぬことを思いません。これからも謙虚な姿勢を忘れず、ひたむきに頑張りたいと思います。



躍動の青いカ 四国総体2022 入賞一覧

No	成績	競技	種目	氏名	学校
1	1位	ホッケー	男子	横田	
2		カヌー	女子カヤックペア 500m	三島 寧々、島本 まりあ	出雲農林
3		陸上	110m障害	外野 晴琉	出雲
4	2位		ハンマー投げ	佐野 陽菜	松江工業
5		カヌー	女子カヤックペア 200m	三島 寧々、島本 まりあ	出雲農林
6		剣道	男子個人	坂本 涼輔	大社
7		柔道	男子個人60kg級	田窪 剛共	開星
8			女子個人57kg級	小幡 心里	出雲西
9		卓球	男子団体	出雲北陵	
10			男子ダブルス	杉佐 大卓、浦藤 晴江	出雲北陵
11	3位		女子ダブルス	山根 唯愛	明誠
12		フェンシング	女子団体	安来	
13		カヌー	男子カヤックフォア 500m	鳥根中央	
14			女子カヤックフォア 500m		
15			女子カヤックフォア 200m	出雲農林	
16			女子学校対抗		
17		カヌー	男子カヤックフォア 200m	鳥根中央	
18	4位	カヌー	男子カナディアンシングル200m	片伊勢 志哉	出雲農林
19		剣道	女子団体	大社	
20			男子個人	山根 平	大社
21		柔道	女子個人70kg級	井上 七海	明誠
22	5位	卓球	女子団体	明誠	
23			女子シングルス	山崎 唯愛	明誠
24		ホッケー	女子	横田	
25		カヌー	男子カナディアンフォア500m	出雲農林	
26			男子カナディアンフォア200m		
27		陸上競技	男子棒高跳	土江 真翔	大社
28		ウエイトリフティング	女子71kg級 ステッチ	井谷 桐子	出雲農林
29			女子71kg級 クリーン&ジャーク		
30			女子71kg級 トータル		
31		ヨット	レーザージャギル級	豊島 有社	松江高専
32	7位	自転車	個人ロードレース	寺本 将輝	松江北
33		カヌー	男子カヤックペア 200m	河野 賢文、河野 晃星	鳥根中央

各競技実施要項の入賞にかかわらず8位以内を記載しています。